

補助事業番号 20-139

補助事業名 平成20年度 宇宙開発利用の産業化推進に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 社団法人 日本航空宇宙工業会

## 1. 補助事業の概要

[http://www.sjac.or.jp/common/pdf/sjac\\_gaiyo/hojo/20-139.pdf](http://www.sjac.or.jp/common/pdf/sjac_gaiyo/hojo/20-139.pdf)

### (1) 事業の目的

宇宙産業は、経済的・技術的に波及効果の大きい最先端技術の集合であり、また事業リスク、技術リスクの極めて大きな産業である。このため、世界的には米欧の巨大メーカーが政府・軍の支援を受けつつ事業展開を行っている。

各国政府が宇宙産業を支援している背景には、宇宙の開発利用は、①宇宙産業の発展に伴う経済活性化、②通信、測位、気象情報の入手等国民生活の向上、③知的フロンティアの拡大、などに寄与することに加え、宇宙産業は、④安全保障、災害等に不可欠な情報収集等のためにも必須であり、こうした産業・技術は海外から無制限に導入できるものではないとの考えによるものである。

我が国宇宙開発は、これまで主として科学技術開発という観点から国主導で進められ、我が国宇宙産業は、規模、資本、技術等の面で、依然極めて弱小・脆弱な状況にある。

こうした中、我が国宇宙開発は、H2Aの開発・民間移管、民主導の中小ロケット開発の動き、国際衛星市場への参入事例の誕生など、ようやく産業化への胎動が見られる段階を迎えた。

現在、国際的に、米欧の競争力強化に加えて、中国・インド他の台頭が目覚しく、我が国宇宙産業をめぐる環境はますます厳しさを増している。

他方、宇宙空間は、通信放送事業以外にも、衛星を介し、様々な観測情報、地図情報等を提供し、また、新しいビジネス機会や科学環境を提供するポテンシャルを有しており、その利用促進が極めて重要である。

我が国としては

- a 欧米の宇宙政策、宇宙産業の動向等を十分把握しつつ、
- b 宇宙産業の基盤強化、宇宙利用の拡大等を図りつつ、わが国宇宙開発利用の産業化を推進する発展戦略の検討が不可欠となっている。

本事業は、宇宙政策、宇宙産業・利用の動向等を多面的に調査研究し、我が国の宇宙開発利用の産業化推進に寄与し、もって先端的な技術水準の向上を図り、ひいては宇宙工業において、企業の事業環境を整備し、新規事業の創出、高付加価値化の推進等の構造改革に資する。

### (2) 具体的実施内容・成果

#### ① 宇宙産業調査

##### (ア) 宇宙産業に関する基礎資料の作成・編集

我が国宇宙産業の規模、欧米との比較等に関する基礎データをまとめ、関係機関で有効に活用されている。

##### (イ) スペースポリシーに関する調査

我が国宇宙産業の現状と課題の調査を行い、宇宙基本法が制定された後の我が国における分野別の産業振興策を提言した。

#### ② 宇宙産業の将来展望調査

##### ・ 技術動向調査

日米欧を主体とした商用及び軍事静止通信衛星の動向実態並びに、世界の小型衛星の実用化に関する動向を明らかにし、関係機関において有効に活用されている。

##### ・ 宇宙用部品供給基盤調査

宇宙用部品の供給基盤に関する課題に対する対策の具体化により、対策提言案を作成し、関係機関等の政策立案の資とした。

### ③宇宙利用需要動向調査

#### ・宇宙ロボットに関する調査

国内外の宇宙ロボットの研究開発動向と産業化に向けての課題の調査検討を行い、調査結果を関係機関に配布し、宇宙開発利用の企画・立案の資とした。

#### ・スペースデブリに関する調査

スペースデブリに関する提言内容が、宇宙開発戦略本部の「宇宙基本計画(案)」の宇宙環境保全に反映された。

#### ・世界の宇宙インフラの調査

「世界の宇宙インフラデータブック」を作成し、関係機関に配布し、宇宙開発利用の企画・立案の資とした。

## 2. 機械工業等において予想される事業実施効果

### ①宇宙産業調査

#### (ア)宇宙産業に関する基礎資料の作成・編集

本資料は、わが国宇宙産業の現状把握・今後の方針の企画や立案に必要なものとなっている。

#### (イ)スペースポリシーに関する調査

本調査の成果は、政府・企業・研究機関等の関係先に幅広く利用され、今後の我が国宇宙産業の合理的かつ着実な発展に寄与している。

### ②宇宙産業の将来展望調査

#### ・技術動向調査

世界の商用及び軍事静止通信衛星の事業実態、技術動向及び小型衛星の実態が整理され、関係機関、企業等の今後の企画立案等に役立つことが期待される。

#### ・宇宙用部品供給基盤調査

宇宙用部品供給基盤に関する課題と対策案が整理され、関係機関、企業の今後の取組みに有益な資料として活用されることが期待される。

### ③宇宙利用需要動向調査

#### ・次世代宇宙プロジェクトの調査

宇宙産業の長期計画・企画立案に際して、世界各国の長期宇宙開発計画・利用ビジョン・研究開発動向を理解すると共に、我が国の将来性ある宇宙産業分野・宇宙プロジェクトの立案・企画に役立つ事が期待される。

#### ・世界の宇宙インフラの調査

「世界の宇宙インフラデータブック」は、今後の宇宙開発利用の企画や立に役立つことが期待される。

### 3. 本事業により作成した印刷物等

- ・平成 20 年度宇宙産業データブック「平成 19 年度宇宙産業規模調査結果」
- ・平成 20 年度我が国の宇宙機器製品カタログ(英文版)
- ・平成 20 年度我が国の防衛宇宙開発利用のあり方に関する中間報告書
- ・平成 20 年度宇宙産業振興に関する調査報告書
- ・平成 20 年度先進的な宇宙活動法に関する中間報告書
- ・平成 20 年度静止衛星通信に関する動向調査報告書
- ・平成 20 年度小型衛星の実用化動向調査報告書
- ・平成 20 年度我国の宇宙用部品供給基盤に関する調査報告書
- ・平成 21 年 世界の防衛宇宙データブック
- ・平成 20 年度宇宙ロボットに関する調査報告書
- ・平成 21 年 世界の宇宙インフラデータブック ロケット編
- ・平成 21 年 世界の宇宙インフラデータブック 衛星編

### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人日本航空宇宙工業会(シヤダンホウジン ニホンコウクウウチュウコウギョウカイ)

住所： 107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者： 会長 森 郁夫 (モリ イクオ)

担当部署： 総務部

担当者名： 塩澤 隆司(シオザワ タカジ)

電話番号： 03-3585-0511

Fax. : 03-3585-0541

E-mail: shiozawa@sjac.or.jp

URL: <http://www.sjac.or.jp>